



**Rd.1**  
 5.24 [sat] - 25 [sun]  
 [place] 岡山国際サーキット(岡山県美作町)  
 [weather] [sat] 雨 [sun] 曇り

## 2025年のFRJ開幕ラウンドは、 3レース全てでTOM'Sが制し、 幸先の良いスタートを切る。

### QUALIFYING

2025年シーズンのFRJは、TOM'S FORMULA から2台がエントリー。TGR-DCドライバーの#37 梅垣清(うめがき きよし)と、#38 鈴木斗輝哉(すずき ときや)が王座を目指す。24日(土)9時00分からの公式予選は強い雨に見舞われ、コースオフ車両が多発し、2度の予選で合計4度も赤旗中断という波乱の展開となった。その中で鈴木が好タイムを記録しポールポジションを獲得。梅垣は赤旗の影響で満足なタイムが刻めず、1回目を4番手でセッション終了。予選2回目も鈴木がトップタイムを記録し、梅垣は2番手につけた。

●天候:雨 ●気温:18℃ ●路面温度:20℃



### RACE

24日(土)のRace1は雨量が多いためセーフティカーの先導でスタートしたが、状況が好転せず5周を終えたところで赤旗終了。鈴木がデビューウィン、梅垣が4位で通常の半分のポイントを獲得した。

Race1 ●天候:雨 ●気温:18℃ ●路面温度:19℃

Race2 ●天候:曇り ●気温:18℃ ●路面温度:20℃

Race3 ●天候:曇り ●気温:19℃ ●路面温度:20℃

25日(日)のRace2は前日の雨は止んだが、路面は一部濡れている状況の中で、ポールポジションからスタートした鈴木がトップでチェッカーを受けたが、フォーメーションラップ後のグリッドボックス所定位置への停止を誤ったため、スタート手順違反の判定となり5秒のタイム加算ペナルティが科され、最終結果は2位。梅垣が初優勝を飾った。Race3はドライコンディションとなり、鈴木がポールポジションからトップを守り抜き2勝目を記録。梅垣は5番手スタートから、2台を追い抜き3位となり表彰台に上がった。



TOM'S TGR-DC FR

# 37

## KIYOSHI UMEGAKI

Driver **梅垣 清**

	Race 1	Race 2	Race 3
予選	4位	2位	5位
決勝	4位	1位	3位

	Race 1	Race 2	Race 3
予選	QF1ベストタイム P4/1'46.877	QF2ベストタイム P2/1'43.774	QF1セカンドタイム P5/1'50.293
決勝 ベストタイム	P4/2'42.572	P1/1'27.028	P3/1'27.035

TOM'S TGR-DC FR

# 38

## TOKIYA SUZUKI

Driver **鈴木 斗輝哉**

	Race 1	Race 2	Race 3
予選	1位	1位	1位
決勝	1位	2位	1位

	Race 1	Race 2	Race 3
予選	QF1ベストタイム P1/1'44.057	QF2ベストタイム P1/1'43.463	QF1セカンドタイム P1/1'44.821
決勝 ベストタイム	P1/2'42.794	P2/1'26.810 <b>Fastest Lap</b>	P1/1'26.315 <b>Fastest Lap</b>

37



ドライバー 梅垣 清

Race2で優勝できましたが、全体的には悔しいと感じた大会でした。フォーミュラ・リージョナルはダウンフォースが多くて、追い抜くのが難しい車両ですが、Race3では自力で順位を上げられたので良かったです。次に向けては予選一発の速さを改善していきたいですし、レース中での強さも磨き上げていかないといけないと感じています。特にレース1周目からペースを上げることを課題として、富士ではポール・トゥ・ウィンができるようにしていきたいです。

38



ドライバー 鈴木斗輝哉

今回は3レースを通して、予選でしっかり前のポジションにいられたことが大きかったですし、勝因になったと思います。フォーミュラ・リージョナルはダウンフォースが多いクルマなので、後ろの順位になると前に出るのが難しくなります。これまでは予選でタイムを出すのが苦手でしたが、今回は3レースとも予選でトップを獲って、その流れで結果を残すことができたのは嬉しいです。次の富士は得意なコースなので、優勝を目指していきたいです。



チーム監督 山田 淳

波乱というかいろんなことが起きた岡山ラウンドでしたが、その中で鈴木はスタートダッシュもすごく良いですし、Race2のような難しいコンディションでも1周目から速かったのは印象的でした。この大会でポールポジションを獲り、優勝を飾ったという意味では十分合格点かと思います。梅垣は予選での赤旗の影響など不運もありましたけど、十分にパフォーマンスはあると感じているので、これからも2人で切磋琢磨していってほしいです。



PONS

